

11月のアーティスト・イン・レジデンス プログラム ～JCDN「踊りに行くぜ!!」Ⅱ vol. 7 滞在制作～

11月に城崎国際アートセンターで予定されている、アーティスト・イン・レジデンス・プログラムをお知らせする。

1 JCDN「踊りに行くぜ!!」Ⅱ (セカンド) vol. 7 滞在制作 (11月編)

(1) 滞在制作

ア 期間

11月2日(水)～13日(日)

イ 内容・特色

- (ア) 「踊りに行くぜ!!」Ⅱは、ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(JCDN)による“ダンス作品”の新作づくりに取り組むプロジェクト。他ジャンルのアートでは表現できない“ダンス作品”の発明を目指す。
- (イ) 城崎国際アートセンターでは、KIACならではの作品づくりに集中できる環境の中で、11月と12月に、計3人の振付家が滞在制作を行う。
- (ウ) 城崎での滞在制作でつくられた3作品は、2017年1月～3月にかけて、全国約7カ所のツアー公演で上演される。
- (エ) 11月に滞在制作を行うのは、ダンスカンパニー^{パティック}BATIK^{くろだいくよ}主宰の黒田育世さん。
- (オ) 黒田さん率いるBATIKは、パワフルでダイナミックな振付が持ち味。11月は滞在制作のみで、成果発表は12月に予定している。
- (カ) 黒田さんは、湊かなえさんのベストセラーを原作に、松たか子主演で映画化した「告白」にも出演するなど多方面で活躍している。



桑折現作品『To day』/「踊りに行くぜ!!」Ⅱ vol.5 東京公演
(2015年3月) 舞台写真 ©Hideto Maezawa



山崎広太作品『足の甲を乾いている光にさらす』/「踊りに行くぜ!!」Ⅱ vol.6 ダンス・イン・レジデンス 公開稽古
@KIAC (2015年11月) ©igaki photo studio

(2) 滞在制作する作品

ア タイトル

ザ レリジョン オブ パーズ
「THE RELIGION OF BIRDS」

作品メッセージ

『鳥の仏教』という文献を舞踊化します。一羽の鳥がさまざまな種類の鳥に教えを説いて行くお話です。これを、鳴き声のヴァリエーションと、その鳥それぞれの特性を振付けとして用いながら、その教え自体とそれに向けられた信仰心を体で描き、最低限の設えの中で、総体として、踊りの祈りが浮かび上がるように編み上げて行きたいと思っています。

イ 出演等

- (ア) 演出・振付 黒田育世
- (イ) 出演 伊佐千明／大江麻美子／野村琴音／政岡由衣子／矢嶋久美子
／黒田育世
- (ウ) 音楽 松本じろ

エ 上演予定

仙台（1月）、東京（3月）、京都（3月）

〔問合せ〕 豊岡市環境経済部大交流課 TEL 0796-21-9016
事業内容については
城崎国際アートセンター TEL0796-32-3888

〈プロフィール〉

1 黒田青世 (Ikuyo Kuroda)

バレエを基礎に、身体を極限まで追いつめる過激でダイナミックな振付は踊りが持つ本来的な衝動と結びつき、ジャンルを超えて支持されている。カンパニーでの活動に加え、金森穰率ノイズムゼロファイブいるNoism0 5、あめやのりみず飴屋法水、かさいあきら笠井叡、野田秀樹などさまざまなアーティストとのクリエイションも多い。

2 NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク (JCDN)

ダンスは言葉や道具を使わずに、自分自身の身体を使って表現しコミュニケーションするという他の芸術にはない特徴を持っています。「自分を見つめる力」「自己表現力」「他者との関係性を創る力」、JCDNは、これらダンスの持っている力を社会の中で生かしていくこと、子どもから老人まで日常生活の中でダンスに触れる機会を創ること、そのための環境を創ることを目的に、社会の中に、ダンスを普及し環境整備事業を実施していきます。

- (1) ダンス・アーティストの支援-オリジナルで質の高いダンス作品制作環境をサポートし、国内外に発信していく。
- (2) 「ダンスは全ての人のためにあり、全ての人にダンスを」というコミュニティ・ダンスの理念に基づき、「ダンスの持っている力」を地域の中で生かしていく。
- (3) 教育の中にダンスの持つ力を取り入れたカリキュラムを普及していく。